



## DNW-21021 の概要

課題名 : 1 炭素代謝酵素の新規阻害剤の検証  
主任研究者 (Principal Investigator) :  
後藤 典子 (国立大学法人金沢大学がん進展制御研究所)  
ステージ : 標的検証前期

### 【標的疾患】

トリプルネガティブ乳癌、大腸癌、肺癌、急性骨髄性白血病、前立腺癌

### 【創薬標的】

1 炭素代謝に関わる酵素 X

### 【創薬コンセプト】

がん細胞内で特異的に活性化している 1 炭素代謝経路に関わる酵素 X を阻害することによる、副作用の少ない抗がん剤

### 【ターゲットプロダクトプロファイル】

1 炭素代謝経路を阻害することで、がん細胞とがん幹細胞の両方の増殖・生存を抑制できる抗がん剤の創製を目指す。

### 【モダリティの設定】

低分子化合物

### 【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 1 炭素代謝酵素 X が、がん細胞のみならずがん幹細胞の維持にも重要であることを世界に先駆けて見出している。
- 2) 酵素 X に親和性の高い基質の合成が完了している。

### 【支援ステージにおける目標】

対象とする酵素 X の阻害で十分な治療効果が発揮でき、同じ経路の他の酵素よりも標的として優位性がある可能性を示す。

**【関連特許】**

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。